

2012年1月（第17号）

ファミサポ

ホットタイム

発行元 まつさかファミリーサポートセンター



まつさかファミリーサポートセンターは（特）松阪子ども NPO センターが
松阪市より委託を受けて運営しています。





まつさかファミリーサポートセンターって どんなところ!?

こんな質問をされたら、どのように答えますか?

日頃よく利用している方は、「少しの間 子どもを預かってくれる」とか「送迎をしてもらっている」等
思い浮かぶでしょう。又、登録はしているもののまだ機会がなくよくわからないという方も多いと思いま
す。——まつさかファミリーサポートセンターが第一に考えていること、それは、

「子どもにとって大事なことは何か」なのです。

子どもが

安全で安心して
いられる居場所
があること

だった!

気持ちを聴いてく
れるおとなや仲間
がいること

だった!

子どもには“自ら育つチカラがある”といわれます。この“チカラ”を妨げず支えることが私たち大
人の役目と言えるでしょう。ゆっくりじっくり子ども自身が育っていくのを見守り信じて待つことがで
きれば…と誰もが思うところですが、安心安全に見守ることができない状況になった時、保護者のでき
ないところをサポートするのが、センターの役割だと思っています。

年々依頼内容も多様化してきていますが、まずは相談して下さい。できるところで一緒に考えていき
たいと思っています。一方、毎年少しずつですが援助会員数も増加しています。それは、活動して子ど
もを直接支援していくことでもありますし、地域の中で子どもを見つめる眼が増えるということでもあ
ります。“地域の中での子育て”を実践している援助会員の皆さんに感謝!です。

これからもまつさかファミリーサポートセンターは、皆さんと一緒に『子どもにとって大事なことは
何か』を考えていきたいと思っています。

援助会員養成講座終了しました!!

12月3日(土)から始まり4日間の講座を終えて、今回も新しい援助会員さんが誕生しました

子どもとも保護者の方とも信頼関係が大事になってきま
す。「この人になりたい」「この人なら安心」と思ってもら
える関係性が作れる様にしていきたいなと思いました。

自分がこれからどんな子どもたちと出会うん
だろう・・・関わっていくことができるん
だろう・・・とワクワクしています。

何とか少しでも役に立てるこ
とがあればと思います。

子どもが変わってきている、まわりの環境
が変わってきている、社会全体がかわって
来ている現代。私にできることをたくさん
教えていただきました。

もっと早い時期に子育て支援の事
を知っていれば、自分の子育てに役
立ったのではと思いました。

自分の子育てにも役立つ事、ころ
がけていきたいと思うことが、たく
さん学べて、ためになりました。

地域で誰かのサポートが
できる人間でいたいな～
と思いました。

たくさんの方との出会いも得ら
れて、私自身の成長の場にもな
ったと思います。
いろいろお話をするのも楽しか
ったです。



■依頼会員より■

実家の両親の体調が悪くなり、保育園のお迎えをお願いし
ています。「子ども一人育つには村の人全部必要」というアフ
リカのことわざがありますが、たくさんの人に触れ合い支え
てもらうことで子どもが育っていくのだという実感がありま
す。子育ては分かち合いですね。

■援助会員より■

最初はおまえていたが、回数を重ねるごとに両方が慣れてきて、
色々な話しをしてくれるようになりました。
慣れてきた頃から、「もう少し園で遊びたい」など言う事もあり
ますが、「今日は早く帰らなくては」と伝えるとよく分かってくれ
ます。自分の子どもは大きくなってきたので、悠也くんが自分の出
来る事や、園での工作を見せてくれるのがとてもうれしいです。

援助活動 やってま〜す



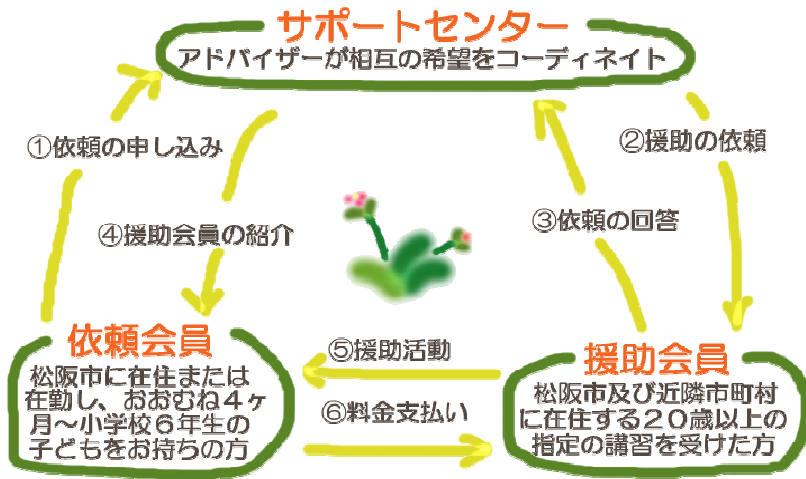
■依頼会員より■

最初の頃は、緊張していた小春も、お花をつんで花束に
してもらったり、公園につれてもらったりするうちに、鈴
木さんが大好きになりました。帰ってくると、たくさんの
楽しかった話を聞かせてくれます。

■援助会員より■

はじめの頃は、少しすると『ママこないかあ...』と
つぶやいていましたが、今は『あっという間にママが
くるなあ!』と笑ってくれます。
普段は夫婦2人暮らしですが、この子が来てくれて
いる間は気持ちが新鮮で潤います。子どもさんを預か
る責任は大きくて気はぬけません、私の方が楽しま
せてもらっていて本当にかわいいんです。

～ファミリーサポートセンターのしくみ～



★ まず登録をしてください ★

お申し込みは当センターまでおこしてください。

★ 登録をすると ★

- ① 援助会員さんとのコーディネート
ファミリーサポートセンターのアドバイザーが、条件にあった援助会員さんを探して紹介します。
- ② マッチング（面談）
援助会員さん・依頼会員さんの顔合わせです。実際に援助をする子どもさんもお連れ頂いて、条件の確認をします。
- ③ 援助活動開始
予約を頂いた上で援助活動が始まります。

ステップUP 講座のお知らせ

シンポジウム『地域で子どもを支援すること』 ～子どもを権利主体として捉えるには～

日時 : 2月26日(日) 13:00～16:00
 場所 : ワークセンター松阪
 参加費 : 無料
 対象 : 援助会員・両方会員・依頼会員
 浜田進士さん(関西学院大学教育学部・准教授)による講演とパネルディスカッションをします。いろいろな立場から「子どもの権利」を一緒に考えてみませんか？

交流会のお知らせ

日時 : 3月4日(日) 10:00～13:30
 場所 : 花岡地区市民センター
 参加費 : 無料
 対象 : 援助会員・依頼会員・両方会員
 内容 : すごろくを作って遊ぶ
 子どもはもちろん！大人も一緒に頭と体を使って楽しみましょう。
 恒例となりました“豚汁”もお楽しみに。
 ★ どちらも事前申し込みが必要です。詳しくは後日のチラシをご参照ください。



アドバイザーより

先日ある研修会に参加しました。その中で、「待ってもらった経験は、子どもの自己肯定感の根っことなる」との話がありました。日々子育てに追われる生活の中で、「待つ」ということは大変難しいことです。つい「早く早く」と言ってしまうたり、親が先に手を出しすぎてしまったり…。

「待つこと」は忍耐もいりますし、子どもは失敗をしてしまうかもしれません。しかし、失敗することは子どもが育つよい機会だととらえ、子どもを信じて待つことができれば、きっと子どもは持っている力を出すことができると思います。「子どもの力を信じて待つ」…ちょっとした時間からでもいいと思います、今日から心がけてみませんか。



★まつさかファミリーサポートセンター★

〒515-0043 松阪市下村町1115
 (特)松阪子どもNPOセンター内
 TEL・FAX 0598-60-1820
 E-mail mfsc@mknpo.jp
 URL <http://www.mknpo.jp/mfsc/>
 受付時間 月曜から土曜の7時～20時
 休日 日曜・年末年始